１章　マスタークラス・公開レッスン実施報告

1章　マスタークラス・公開レッスン実施報告

1−1　概要

本事業では、プロフェッショナルダンサーとしての活躍が期待される若手を対象に、2015年度より継続して海外優秀指導者によるマスタークラスを実施している。新進ダンサーが素晴らしい芸術家に成長していくためには、多くの優れた指導者との出会いが必要であり、本事業によるマスタークラスは多くのダンサー・指導者に新たな気づきをもたらしている。

本年度は、ヒューストン・バレエ団のプリンシパルであり、世界的に活躍している加治屋百合子氏を招へいし、日本バレエ団連盟の加盟団体におけるマスタークラスと、東京文化会館での公開レッスンを実施した。

ダンサー育成環境の開発と整備の一助とすべく、公開レッスンの様子は、プロを目指すバレエ学習者・バレエ指導者および、ダンサーの身体のメンテナンスに携わる方々に見学いただくこととした。また、当日会場にお越しいただくことが困難な全国の学習者・指導者にも参考としていただけるよう、公開レッスンの映像を収録し、後日、Youtubeでの無料配信を行った。

公開レッスンの実技を行うダンサーは、日本バレエ団連盟の加盟団体より、複数のバレエ団から参加する形とし、新進ダンサーがバレエ団の枠を超えて、歴史ある舞台空間で刺激を与え合う機会とした。

1−2　加治屋百合子氏によるマスタークラス・公開レッスン

講師紹介

加治屋　百合子　YURIKO KAJIYA

愛知県出身。8歳よりバレエを始める。10歳で上海舞踊学校に留学。在学中の2000年、若手バレエダンサーの登竜門であるローザンヌ国際バレエ・コンクールでローザンヌ賞を受賞、奨学金を得てカナダ国立バレエ学校に入学。2001年アメリカン・バレエ・シアター（ABT)スタジオカ

ンパニー入団。2002年同バレエ団の研究生を経て、同年6月正団員となり2007年7月にソリストに昇格。 2014年7月ヒューストン・バレエ団移籍、最高位プリンシパルに昇格。2021年3月 令和２年度（第71回）芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

「くるみ割り人形」「コッペリア」「ジゼル」「眠れる森の美女」「ドン・キホーテ」「白鳥の湖」「ラ・バヤデール」「レ・シルフィード」「マノン」「蝶々夫人」「メリー・ウィドウ」等に主演。またアレクセイ・ラトマンスキー、トワイラ・サープ、マーク・モーリス、ヨーマ・エロ、イリ・キリアン、スタントン・ウェルチ、マーサ・グラハム、ジョージ・バランシン、ケネス・マクミラン、アントーニー・チューダー、ジェームス・クデルカ、フレデリック・アシュトン、ジェローム・ロビンズ振付作品でも主要パートを務める。

2006年　日本版「Newsweek」世界が尊敬する日本人100人に選ばれる。
2007年　「情熱大陸」出演。
2010年　アメリカ高視聴率番組「So You Think You Can Dance」にゲスト出演。全米で生放送される。
2011年　NHKハイビジョン特集、アメリカン・バレエ・シアター来日公演「ドン・キホーテ」主演、その様子を追ったドキュメンタリー「バレリーナYuriko－輝きの舞」がNHK・BSにて放映される。
2012年　国際社会で顕著な活動を行い世界で『日本』の発信に貢献したとして、内閣府から『世界で活躍し「日本」を発信する日本人』の一人に選ばれる。
2013年　内閣府に招待を受けニューヨークで安倍首相夫妻と対談。
2015年　アメリカ「タイム誌」が選ぶ次世代のリーダーに選ばれる。
2017年　ニューヨークにてヒューストンハリケーン支援ガラ公演を主催。
オーストラリアバレエ団「眠れる森の美女」客演。
2018年　ローザンヌ国際バレエコンクール審査員。
2019年　北京国際バレエコンクール審査員。
2020年　オンラインにて日本のアーティスト＆舞台芸術を支援するプロジェクト『Hearts for Artists』を始動。
14カ国22バレエ団32人のバレリーナが踊る「瀕死の白鳥」アーティスト支援プロジェクトに賛同＆出演。
世界のバレエ団、ガラ公演に招かれる他、講習会を開き講師としても活躍している。
2021年3月　令和2年度（第71回）芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。

● マスタークラス実施概要

対　象：2021年1月4日（月）：井上バレエ団（2クラス×1日）
2021年1月7日（木）～11日（月）：東京シティ・バレエ団（2クラス×5日）
指　導：加治屋　百合子

<マスタークラスの様子>

（井上バレエ団）

（東京シティ・バレエ団）

● 公開レッスン実施概要

日　時：2021年1月6日（水）13:00～15:00
会　場：東京文化会館　大ホール
指　導：加治屋 百合子
司　会：安達悦子（東京シティ・バレエ団　芸術監督）
ピアニスト：稲葉智子
実　技：日本バレエ団連盟の会員団体のバレエ団に所属するダンサー　計34名
　　井上バレエ団：7名
　　小林紀子バレエ・シアター：3名
　　スターダンサーズ・バレエ団：9名
　　東京シティ・バレエ団：9名
　　牧阿佐美バレエ団：6名
舞台スタッフ：有限会社ニケステージワークス、有限会社舞台照明劇光社
撮影・編集：株式会社 日本パ・ド・ドゥ

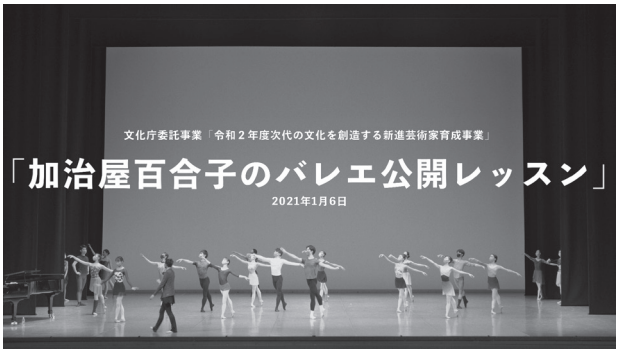
見学者：計72名（事前申込制・全席指定・無料）
　　バレエ指導者：26名
　　バレエ学習者：19名
　　ダンサーの身体のメンテナンスに携わる方：9名
　　学習者の付き添い：9名
　　その他（舞踊評論家・バレエ団関係者等）：9名

＜公開レッスンの様子＞

（撮影：株式会社 日本パ・ド・ドゥ）

● 公開レッスン映像配信概要

配信期間：2021年3月7日（日）10:00～16日（火）24:00（10日間限定）
実施方法：YouTubeによる無料配信
配信内容：バーレッスンからセンターレッスンまでクラス全体の通し映像
撮影・編集：株式会社 日本パ・ド・ドゥ



公開レッスン見学者の声 ～オンラインアンケート・SNSより～

- さまざまな動きの"イメージ"が大変参考になった。（バレエ学習者）
- バーレッスンでのアームスの位置の大切さを改めて再確認した。（バレエ学習者）
- プリンシパルとして現役で世界的に活躍されているダンサーのバレエへの向き合い方を知ることができ、とても有意義な機会だった。（バレエ学習者）
- 舞台の上でのエポールマンの角度、お客様に見せる角度を大切にというご指導が特に参考になった。（バレエ指導者）
- ダンサーに対しての語りかけ方や、アンシェルマンの組み方、表現の仕方が大変参考になった。（バレエ指導者）
- 客席からの見え方を意識して身体の向きを定めることや、空間を大きく使い上体を動かすことについて、もっと意識するよう指導していく必要があると感じた。（バレエ指導者）
- 軸足にしっかり乗った上で脚を動かすこと、劇場を意識した見せ方を常に意識すること、腕の使い方、脹脛や足首の怪我予防等について、大変参考になった。（ダンサーの身体のメンテナンスに携わる方）
- 軸足の使い方、腕の使い方、引き上げなどについて、理学療法士として違う言語で指導していたが、先生がわかりやすい言葉で伝えられていて参考になった。（理学療法士）